

令和7年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和8年3月31日時点)

施設名	麻布子ども中高生プラザ						
指定管理者	公益財団法人児童育成協会						
指定期間	令和 7 年 4 月 1 日 ~ 令和 12 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	-	利用料金制の採用	-	使用許可権限の付与	-
施設所管課	麻布地区総合支所管理課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規			非正規			委託(シルバー人材センター等)	合計
	常勤	非常勤		常勤	非常勤			
職員数	30	20	10	0	0	0	1	31
		令和7年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度		備考
正規・非正規職員の退職者数	4							

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和7年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備考
施設利用者数	107,391					
新規登録者数	3,246.0					
苦情件数	1					

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項目		令和7年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備考
経費実績	収入	150,363,879	0	0	0	0	
	指定管理料(清算後)	150,007,879					
	利用料金収入	0					
	その他収入	356,000					
	支出	148,795,956	0	0	0	0	
	職員人件費	120,138,153					
	光熱水費	6,400,208					
	修繕費	454,344					
	事業運営費	12,409,811					
	施設管理経費	143,440					
その他経費	9,250,000						
差引収支額	1,567,923	0	0	0	0		
年度協定書で定める指定管理料	166,765,229						

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価視点	指定管理者による評価	区による評価		
			評価	加算	点数
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	- / -	×1	- / -
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者の声等を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	5 / 5	×5	25 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	×2	10 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	×2	10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	3 / 5	×3	9 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	×3	15 / 15
区による評価合計点					89 / 95

【各項目の評価について】

5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。

3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。

1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。

※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「-：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	「サービスの向上」の取り組みとして、利用者の要望を反映し、絵本の貸出事業を開始しました。中高生世代対象にはSNSの新たな開設、公立中学校への出張プラザを行い、誰でも使いやすいプラザとなる機会を設けました。絵本貸出事業運営のためシルバー人材センターを活用し、「区施策への協力」に取り組ましました。令和7年度は1件骨折事故があり、事故発生時の職員の判断に課題が残りました。今後は作成した判断シートの確認、研修を重ねて、安心安全な居場所づくりを行い、「安全管理・危機管理」に取り組んでいきます。また、性被害未然防止のため、マニュアルを当法人で作成、日常の取り組みとして30分ごとの館内巡回を行い見回りを強化しました。危機管理機能の強化のため、月1回、「不審者対応」「情報セキュリティ」等研修を取り入れました。令和8年度に向けて、多様な利用者（不登校児、一人で過ごしたい子、女子）の居場所づくりに取り組めます。
区（施設所管課）による評価	絵本の貸出事業の開始や中高生世代向け事業の充実により、利用者の満足度向上及び区施策の推進が図られた点が評価できます。一方で、「安全管理・危機管理」については引き続き課題が残る状況です。利用者の安全・安心の確保に向け、事故発生時の初動対応及びその後の利用者対応について、職員の対応力向上を図るための具体的な対策を講じるよう、区として指導していきます。令和8年度に向けては、多様なニーズに応じた居場所づくりを一層推進し、誰一人取り残されない支援の充実を期待します。

6 評価

令和7年度の管理運営に関する総合評価

S

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）

A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）

B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）

C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）